

講義科目 : 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ 担 当 : 長友薫輝、北村香織、武田誠一	単位数 : 3 学習形態 : 自由選択科目 社会福祉士必修科目 * 第2学年で履修
--	--

講義の内容・方法および到達目標

本科目は、実習科目である。社会福祉施設や機関の役割を実際的に理解するとともに、社会福祉専門職の役割や業務の実際を学ぶ

また、社会福祉援助技術現場実習Ⅰで学んだ知見を基にして課題を設定し、実習に臨む。そして、現場での職員や利用者との関わり等から問題意識を深め、ソーシャルワーク実践に必要な実践的な能力を修得する。

授業計画

- ・実習機関における実習。
- ・実習期間中には教員による巡回指導を行い、必要時には大学にて個別指導を行う。

【現場実習において学ぶこと】

・社会福祉援助技術現場実習Ⅰでの反省点を元に、実践と考察を深める。

①実践能力を養う 学校で学んできたソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を使い、社会福祉士としての価値と倫理に基づいて支援を行うための実践能力を養う。

②生活上のニーズに対応するために、社会資源を活用した支援計画を作成 適切なアセスメントを行ったうえで、「社会資源」を活用することに着目し、支援計画をたて、実施して評価を行う。その際には、ネットワーキングやコーディネーションなどの技術も実践的に取り入れる。さらに、ソーシャルアクションへつなげられるような視点や方法も修得する。

③地域における分野横断的・業務横断的な関係形成について学ぶ 現場実習Ⅰで理解した、多職種連携などの実践をもとに、分野横断的業務横断的な関係を形成するための具体的な関係形成に必要な技術（例えばコーディネーション、ネゴシエーション等）を修得する。

教材・テキスト・参考文献等

使用せず

成績評価方法

配属先実習施設での実習評価(70%)、実習ノート・巡回指導時の状況等(30%)をあわせて総合的に評価する。

その他

1年次での実習経験の成果と反省点を活かし、今期の実習につなげられるように積極的に取り組むこと。また、本実習は学外での学習活動であることを意識し、福祉専門職としての自覚と責任、人権意識と職業倫理に留意し参加することを求めます。